

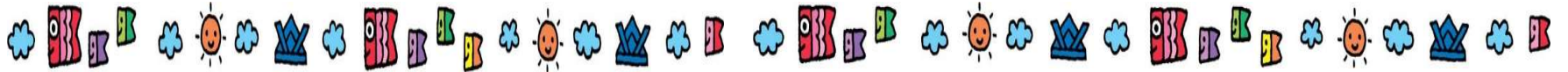
5月 ほけんだより



令和7年5月1日発行 バンビ保育園

入園や進級などで環境が変わる中で、子どもたちは元気に登園していますが中には体調を崩してしまう子もいました。春から夏にかけて飛沫感染や接触感染による溶連菌感染症が流行が考えられますので、引き続き手洗いをしっかりするなどして、感染症対策に気をつけていきましょう。

また、お休みになるとどうしても生活リズムが乱れがちになることがあります。決まった時間に起き、朝昼晩の食事をしっかり摂って、十分な睡眠を確保できるようにしていただければと思います。



手足口病

手のひら、足の裏、口の中に発赤疹や水泡ができる。お尻や皮膚の柔らかいところにもできたり、発熱することもある。

<対応>

口内炎で食欲ないときは、刺激がない口当たりがいいものを与える。

麻しん(はしか)

はしかとは…感染力が極めて強い「麻しんウィルス」に感染することによって発症する。免疫がなければ、感染者と同じ空間にいただけで感染し発症する危険性が高くなります。

感染経路…空気感染、せきやくしゃみなどの飛沫感染、接触感染

症状…高熱、全身の発しん、せき、鼻水、目の充血

潜伏期間…感染すると10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

子どものお肌について

肌が乾燥し身体をかゆがるお子さんをみかけます。

冬場はもちろん、夏場も肌は乾燥します。保湿をすることで、肌が外敵から守られ、皮膚トラブル予防にもつながります。自宅で保湿をし、皮膚を守ってあげましょう。お風呂上がりに塗るのが一番効果的です☆

熱中症に注意

熱中症は梅雨明けから急増します。急激な気温の上昇に対して汗をかいたり血管を広げて体内の熱を逃したりする機能が追いつかず、体温が上昇し過ぎてしまうからです。暑さに負けない体づくりをしましょう。

- ・水分はのどが渇く前にとりましょう。
- ・ぐっすり眠れる環境を整えよう。
- ・体調を整え丈夫な体を作ろう。

<4月感染症情報>

- ・突発性発疹・・・2人
- ・溶連菌・・・2人
- ・クループ症候群・1人
- ・RSウィルス・・・1人

保育園をお休みする場合、保護者の方でコドモンからお休みの連絡をいただいています。その際、園での感染症状況をお伝えするために保護者の方へ連絡することがあります。ご了承ください。

